

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和元年8月30日(金)

発行者 校長 森 健太郎

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 045(401)3644 FAX045(431)0244

祭り

校長 森 健太郎

夏休みが終わりました。今年も生徒たちの部活動の大会、コンクールが数多く開催され、その活躍は素晴らしいものでした。先日の始業式では9部活約100名の生徒たちを表彰し思いのほか時間がかかり、うれしい悲鳴をあげました。その活躍は別掲の通りですが、生徒たちが最後の大会に打ち込む姿を応援したく、できる限りかけつけました。今年はすべての部活動の応援に行くことができ、今まで練習を重ねていた成果を十分に発揮する姿をしっかりと目に焼き付けることができました。残念ながら負けてしまったり、思うような結果が得られない場面もあつたりしましたが、最後まで一生懸命取り組む生徒たちを応援できたことは校長冥利に尽きます。生徒の皆さんご苦労様でした。

この夏休み、学区内9カ所でお祭りが開催されました。今年もすべてのお祭りに先生方と参加させていただきました。どのお祭りも多くの方々の地域の方々、子どもたちで賑わっていました。地域ごとにいろいろな趣向を凝らし、生徒たちがボランティアで参加している場面も見られました。地域に住んでいる方々や子どもたちのためにお祭りがあることは、私の住んでいる地域ではありませんので羨ましいのと同じようにいかに地域を大事にしているかを知ることができました。今の生徒の中から、将来お祭りを運営する立場になる人材が大勢生まれることを期待しています。

日本では有名な祭りがたくさんあります。私はそれらの祭りを見たことが無かったので、この夏休み東北3大祭りのうち秋田竿燈祭り、青森ねぶた祭りに行ってきました。今まで映像や写真で見たことはありましたが、間近に見学し、スケールの大きさと人出の多さには驚きました。秋田竿燈祭りは46個の提灯で竿燈を作り、大きなもので全長12mになるものをおでこや肩、腰などでバランスを取りながら掲げ、笛太鼓のお囃子と共に「どっこいしょ、どっこいしょ」のかけ声に合わせて、妙技を繰り広げます。秋田駅の周辺に270本以上の竿燈が上がり、中には地元の小中学校独自の竿燈も上げられ、祭りを盛り上げていました。見学途中継ぎ足しの竹が折れて倒れてしまう場面もありましたが、消えてしまった提灯に灯を入れ直していたので、蠟燭の提灯を使っていて伝統を大事にしていることもわかりました。夜空に稲穂に見立てた竿燈は大変きれいでした。翌日は秋田から青森まで日本海沿岸を走るリゾート列車で移動し青森ねぶた祭りを見学しました。先導役の後に大勢のハネトが「ラッセラーラッセラー」のかけ声で踊り、その後ろをねぶたと呼ばれる高さ5m幅9m奥行き7mの大きな人形提灯が続き、広場では観客席まで迫り出したり、回転して見せ場を作ったりします。その後には大太鼓を積んだ山車、笛のお囃子が続き、22の大ねぶた、14の

子どもねぶた、担ぎねぶたが青森駅前大通りを行進します。人出もものすごいです。ねぶたのスケールの大きさには感動しました。地元のタクシー運転手さんが、「この時期は血が騒ぎます。」と言われていたのが印象的でした。

1学期の朝会で本校卒業生の江島雅紀さんが6月の陸上日本選手権大会棒高跳びで優勝したことを紹介しましたが、8月の記録会で5 m 7 1を跳び、9月ドーハで行われる陸上世界選手権大会出場を決めました。もしかしたら、錦台中学校卒業生初の2020東京オリンピックになるかもしれません。みんなで応援しましょう。



秋田竿燈祭り



青森ねぶた祭り